

齋食儀(食事作法)

「食前の言葉」

われ今(いま)幸(さいわい)に、
仏祖(ぶつそ)の加護(かご)と
衆生(しゅじょう)の恩恵(おんゑ)によって、
この清き食(じき)を受(う)く。
つつしんで食(じき)の来由(らいゆ)をたずねて、
味の濃淡(のうたん)を問(と)わず。
その功德(こくどく)を念じて品(しな)の多少(たうしう)をえらばじ。
いただきます。

「食後の言葉」

われ今、この清き食(じき)を終わ(お)りて、
心(こ)ゆたかに力(ちから)身(み)に充(み)つ。
願(ねが)わくは、この心身(しんじん)を捧(たも)つて
己(おの)が業(わざ)にいそしみ誓(ちか)つて
四恩(しおん)に報(むく)い奉(たてまつ)らん。
ごちそうさまでした。